

The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



クラブ会長ターゲット
「職業を通じて広げる絆」
"Expanding Relations
Through Business"
2018-2019年度
東京臨海ロータリークラブ会長
本多信雄



国際ロータリーテーマ 2019年1月30日【第1127回】
「インスピレーションになろう」
"BE THE INSPIRATION"
2018-2019年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン
創立：1994年8月8日
会長：本多信雄
副会長：佐藤正樹
幹事：佐藤大輔
会報委員長：井上晴貴

1月30日の卓話	1月23日の出席率	2月6日の卓話
「どのようにすれば社員が自ら考え動き出すのか？」 株式会社エブルガ 執行役員 横山大輔様	会員在籍者数 36名 会員出席者数 20名 会員欠席者数 16名 本日の出席率 60.61% 前々回訂正出席率 88.89%	「イニシエーションスピーチ」 当クラブ会員 櫻田誠一様

《第1126回例会報告 2019年1月23日》

司会：山田会員

- 点鐘：本多会長
- ロータリーソング斉唱「日も風も星も」
：ソングリーダー 勝間田会員
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」
東京臨海 RCVer. 唱和：佐藤正樹副会長
- 来賓・ゲストスピーカー紹介：本多会長
フォーラム講師 林 茂男様（地区職業奉仕委員・
2012-2013年度東分区分ガバナー補佐・東京ベイ RC）
元米山奨学生 ベヤード・コーリー・ディベス様
- ビジター紹介：笹本会員
山岸文男様（東京城東 RC）

学に取り組むことが出来ました。とても感謝していません。

- 会長報告：本多会長
・本日は、職業奉仕部門フォーラム開催の為、例会を1時に終了させて頂きます。



■ 幹事報告：佐藤大輔幹事

- ・東京臨海 RC・東京臨海東 RC・東京臨海西 RC の3クラブ合同例会を3月5日（火）12:30~1:30に東武ホテルレバント東京にて開催致します。出席の有無を2月13日までにご連絡下さるようお願い致します。
- ・東京臨海西 RC の例会日のご連絡を頂きました。掲示してありますので確認下さい。
- ・「文京区中学生職場体験発表会」の案内を頂きました。参加希望の方は、当日、直接会場へ行って下さい。事前登録の必要はないそうです。開催日：2019年2



- 挨拶：元米山奨学生
ベヤード・コーリー・ディベス様 新聞記者で経済を担当していましたが、この度アメリカに帰ることとなりました。アメリカで家庭を築きたいと思っております。米山奨学生として、日本でのネットワークを構築してきました。沖縄の友人から様々な知り合いが出来ました。大切にしたいと思っております。今後はニューヨークで仕事を探していきます。フリーランスで何か取り組みたいと思っております。日本に戻ってきたときには、是非宜しくお願いいたします。米山奨学金のお陰で様々な勉

月1日(金) 14:00~16:00 会場: 文京シビックホール小ホール

■委員会報告

- ・職業奉仕委員会(須藤委員長)
職業奉仕部門フォーラムを本日例会報告終了後、休憩を挟んで1:10よりこの会場にて開催致します。会員皆様の出席をお願い致します。
- ・佐藤正樹次年度会長
マーク・ダニエル・マローニ—2019-2020 年度国際ロータリー会長は、2019-2020 年度 RI 会長テーマを発表されました。
「ロータリーは世界をつなぐ」「ROTARY CONNECTS THE WORLD」

■出席状況報告: 村社委員

⇒詳細1頁バナー下に掲載。



■ニコニコBOX報告: 小松会員

(ご意向) 職業奉仕フォーラムに参加させて頂く為おじゃましました。よろしく。: 林茂男元ガバナー補佐(東京ベイRC)

(ご意向) 元ガバナー補佐 林茂男様、本日のフォーラム宜しくお願い致します。: 本多会長、佐藤正樹副会長、佐藤大輔幹事、須藤会員、田村会員、井上会員、村社会員、山田会員、入澤会員、勝間田会員、佐久間裕章会員、高橋会員、笹本会員、斉藤会員、杉浦会員、小松会員

* 林茂男様よりお車代をニコニコに頂戴致しました。

【18件 52,000円 累計1,279,241円】

■卓話 本日、卓話はありません。1時10分より職業奉仕部門フォーラムを開催致します。

■点鐘: 本多会長

職業奉仕部門フォーラム

フォーラム講師 林茂男様(地区職業奉仕委員・2012-2013 年度東分区分ガバナー補佐・東京ベイRC) 皆様、ロータリーの年表を見てください。深川先生という方がいらっしゃるんですが、最も職業奉仕に詳しい方です。職業奉仕はロータリーであり、ロータリーは職業奉仕である。この精神があつてこそ、ロータリアン、ロータリー活動、倫理運動。そのことを勉強しなければならない。それを言い続けています。88歳でお亡くなりになりました。この年表はこの先生の書の抜粋でございます。

ロータリー物語の歴史を説明します。思想と精神を持った哲学で会を始めよう。ポール・ハリスは親睦、相互扶助だという風に出ていました。彼の洞察力で言えば、親睦が奉仕に転換していくであろうと想像していたと思う。人を得て必然的にカーターやシェルドン



やチェスリー・ペリーなどが集まってきた。最初に集まってきた人が、優れた人だったので社会奉仕の直後に、職業奉仕、職業人だけの一業種会員で始めた。職業人で倫理的に世の中を明るくしていく運動に変わっていく。そういうことを考えて奉仕が変わってきた。1927年には四大奉仕ができた。1905~1927の間には、綱領、職業倫理が出来た。職業人たるものはこうあるべきだと謡った。これは個人倫理の確立だと深川先生は言っている。決議23~34号の利己利他。50ロータリークラブで6000人となっていた。ロータリーは職業人がシカゴの荒れた街の中で生まれた背景がある。職業人がこの倫理運動でまじめに売り買いをしようという世の中になって、職業人が世の中を作ってくれるという。明るい正常なものにしてくれるんだということを考えていた。この22年間に物語の全てが詰まっている。その後四つのテストが出来たり、日本ロータリー=東京ロータリーが出来たりした。このころは、非金銭的で精神的なものだったので、お金で奉仕の仕事をする事は、この時代にはなかった。米山梅吉もクラブとして奉仕する事は何もないと言った。ロータリアンが倫理の心を、心の開発をして倫理を守る。そこから始まるのがロータリーだった。お金を出して奉仕ありきということではない。

日本のロータリーも1920年にせつかくできたのに、日本のロータリーが閉鎖することとなった。アメリカとの戦争の時に、アメリカの思想的なロータリーをやるのは許さないということになった。名前を変えて、水曜会などとして、ロータリーは継続していた。この時の戦前のロータリーメンバーは、サービスを相手に対する思いやりという風に訳していた。サービスは金でものを上から目線で与えるというものではない。良質な親睦があった。良質な思想が日本の戦前のロータリーよりあった。東京ロータリーや大阪ロータリーでも名前を変えて、職業人があつまって例会を続けた。9年間のお休みがあつたが、復帰の条件を与えられた。戦前の日本のロータリーは、職業奉仕の実践を何もしていないではないかと言われた。戦後、景気も良くなり、ロータリークラブが増加していった。国際大会も大阪でやるようになった。ロータリーの拡大だけはされていった。ロータリーが100万人いたときに、日本

ロータリーは13万人になっていた。景気の増減に伴い、現在は8万人台となっていた。

人道奉仕的なことにRI国際ロータリーが変わっていった。ポリオの活動に日本も参加して49億円を支出した。金銭的奉仕、人道的奉仕をRIが行っていくのに、日本もついていった。このことで、日本のロータリー活動が冷え切ってきて、嘆いていった。2016年の規定審議会では、入会金規定の廃止、例会出席の柔軟性、会員分類、職業分類も変わってきた。最初の出発したロータリーの精神が大分ほどけていて、何でもあり。eクラブもあり。様々な変遷をたどっていく。

ロータリーを築いた人々 良質な思想づくりをした人。実体思想の形成。自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献する意図をもって事業を営む。相手に対して思いやりの心をもって接し、長い目で見れば永続的な顧客を獲得し、成功の道に通じる。組織の管理と合理的な管理づくりをした人。職業は社会に対する機会である。

ロータリーの最も充実して基礎が形成された22年。出席・一業種一会員。職業上の高い倫理基準を保ち・・・ロータリアン各自の職業を高潔なものとする。価値のある職業の意義に目覚める。職業は社会に奉仕する絶好の機会。標準RI定款・細則。会員身分、職業分類。決議23-34号。利己利他との調和を目的とする人生哲学。四大奉仕部門確立。歴史を貫く一本の棒。思想倫理運動。定款第五条「目的」定款第六条「五大奉仕部門」世の中に倫理を提唱。世の為、人の為に奉仕する心をもって職業を営むべし。例会は人生道場。職業奉仕なくしてロータリーはない。幸せになりたいと思ったら、まず人を喜ばせることを考えたまえ。職業に「誇り・愛情・責任」を持つこと。廣畑富雄さん、深川純一さん。RI会長テーマ。日本古来の商業倫理。石田梅岩「商いと道徳の融合」中村治兵衛「三方良し」下村彦左衛門「先義後利」二宮尊徳「経済と道徳の融和」洪沢栄一「論語と算盤」松下幸之助「業即信仰」ロータリーとは、奉仕の心を授ける団体。倫理を提唱する団体。心の開発をする団体。ロータリーは品位、品格、高潔な人を育てる。倫理を備え、楽しくユーモアのある会員の社交クラブ。

職業奉仕部門フォーラム 感想

山田会員：頭の中でバラバラに残っていたものが、理解できました。お客様の立場で考えてごらんという父の教えと精通するものがありました。

井上会員：自分を磨いてロータリー生活を営んでいき、人様に尽くして社会を支えていきたいと思いました。

小松会員：ロータリーの背景や、歴史を知れたことが勉強になりました。職業奉仕も勉強になりました。

全体像が知れたのが一番勉強になりました。

地引会員：自分の仕事も含めながら職業奉仕ということで、大変勉強になりました。

入澤会員：自分の職業を通じて社会に奉仕すること。職業を通じて世のため人の為に考えながらやってくる、利己より利他の為にやるという、考えを転換し

て仕事などもやっていけたらいいかなと思いました。鈴木会員：自分自身の職業、自分しかできないというものを明確にして、私はこれをやりたいというものを世の中に明確に打ち出し、それで人が喜んでもらえれば最高の奉仕だと思っています。

コーリー氏：職業奉仕を勉強させていただきました。

高橋会員：職業奉仕は難しく掘れば掘るほど深みにはまっていくのですが、忠恕はわかりやすく簡単でいいなと思いました。

笹本会員：すべての奉仕に繋がる話が聞けたと思いました。ロータリーってどういうところと人と言うときに、困らないように、倫理を根底にして様々なことがあるんだよという気持ちを伝えていきます。

林先生：奉仕の心を授かる・倫理を世の中に提唱する・自分の心を開発する運動をやる会がロータリーと説明してください。

斉藤会員：歴史を知らずして現在将来を語るなかれということで、年表の歴史も大切なので、様々なクラブでの活動を続けていってください。ロータリーというのは、教え教えられるより、自分で学んだと。自分なりに解釈していき、大切にしていきます。

田村会員：年表を配っていただき、勉強しなさいよということで教えていただき、深川さんの講演も聞かせていただき、勉強させていただきました。すべてのことに感謝しておかげさまで謙虚で生きていく。

品格品位をもって高潔な気持ちで頑張っていきます。

佐藤正樹副会長：職業奉仕を含めて自分に与えられている時間を三方良しで生きていくことが大切。再認識いたしました。

佐藤大輔幹事：漠然なものが具体的に自分に落ちてきました。ロータリーがなぜこういうことをしているのかは、歴史を学ぶことで理解できました。

本多会長：会長になってから道徳の話聞く機会が多く、教えていただいたことを従業員や江戸川区で関わった人に伝えていきたいです。



ロータリーをもっと知ろう

今回は、マーク・ダニエル・マローニ—2019-2020年度国際ロータリー会長は、2019-2020年度RI会長テーマを発表されました。「ロータリーは世界をつなぐ」

「ROTARY CONNECTS THE WORLD」です。すこしご紹介いたします。

2019 - 20 年度のテーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」を次期地区ガバナーに発表するマーク・ダニエル・マローニー会長エレクト

ロータリーでの経験の中核にあるのは「つながり」であるとマローニー会長エレクトは信じています。「ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深く、意義あるかたちでお互いにつながることができます」とマローニー会長エレクト。

さらに、多様な会員から成る会員増強委員会を設立することで、現在クラブに反映されていない地域社会の人たちを特定するようすべてのロータリークラブとローターアクトクラブに促しました。

また、「ユニークなネットワークを駆使するロータリーを通じて私たちは、人類の素晴らしい多様性とつながり、共通の目的において永く続く深い絆を創り出します。世界がこれまで以上に分断する今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです」と続けました。

「ロータリーでの活動と家族との時間が競合せず、互いに補完し合うような文化をつくっていく必要があります」と会長エレクト。「これには、現在の文化を変えるための現実的なステップを取ることで、つまり、期待値を現実的に受け止め、スケジュール作りを熟考し、すべてのレベルのロータリー行事に子どもを受け入れることを意味します」

会長エレクト



マーク・ダニエル・マローニー

国連との関係

2019 - 20 年度、ロータリーは世界中で会長主催会議を主催します。この焦点は、**国連**との関係と、多くのロータリー奉仕プロジェクトが支援する国連の持続可能な開発目標です。詳しい情報は、7 月に発表されます。

マローニー会長エレクトは次のように述べました。「ロータリーは、より健康で、平和で、持続可能な世界に対する国連の継続したコミットメントを共有しています。また、ロータリーはほかの組織にはかなわないものを提供します。それはつまり、奉仕と平和とい

う精神の下に世界中の人びとがつながることができ、目標に向かって意義ある行動を起こすことのできるロータリーのインフラです」

ロータリーのビジョン：私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

ロータリーの礎は「つながり」です。友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。

2019-20 年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野において活動します。

実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも関わらず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってはロータリーが手の届きにくい存在となっているようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場である必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気があれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族志向の若い職業人にロータリー奉仕や市民としての参加の機会を提供できます。

2019-20 年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。

2019-20年度「ロータリーは世界をつなぐ」

